

「日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)」は、良好な河川の保全・再生が創り出す健全な水循環系及び歴史・文化と共存する地域社会の実現に向け、河川再生について共に考え次の行動へと後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動しています。また、「アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

目次

Pages

➤ JRRN 事務局からのお知らせ.....	1
➤ 会員寄稿記事.....	3
➤ 会議・イベント案内.....	5
➤ 書籍等の紹介.....	5
➤ 会員募集中.....	6

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

(日本語版)“国際河川賞 2014(International Riverprize)”応募要領を公開しました

JRRN では、河川再生に関わる日本の優れた経験・知見を海外に広く普及していくことを目的に、昨年に引き続き、英語公開情報に基づき『日本が誇る河川再生の経験を世界に伝えよう! “国際河川賞 2014” 応募要領』(日本語版)を作成しました。

国際河川賞 (International Riverprize) は、パートナーシップに基づく河川・流域再生を讃える国際的にも名誉ある賞の一つで、河川・流域再生の成功経験の共有を目的に毎年秋に開催される国際河川シンポジウム (International Riversymposium) において最優秀河川が毎年 1 つ選ばれます。

本年は国際河川賞の一次応募締切が 2014 年 5 月 9 日 (金) に決まり、5 月中旬に一次審査の発表、また 6 月の二次応募と選考プロセスを経て、7 月末には最終選考に進む 4~5 河川程度が発表されます。そして、9 月中旬にオーストラリア国キャンベラで開催される国際河川シンポジウムにおいて最終選考河川による口頭発表が行われ、9 月 16 日 (火) には最優秀河川が決まる予定です。

本要領をご覧になり、国際河川賞への応募をご検討の際は、JRRN 事務局までご連絡をお待ちしております。資金面でのサポートはできませんが、応募や各申請過程における可能な範囲の助言と支援にご協力させていただきます。

なお、主催団体である「国際河川財団(International Riverfoundation)」より JRRN に対し、以下のメッセージを頂いております。

『本年こそ、日本からの国際河川賞へのご応募をお待ちしております。日本の皆様のこれまでの河川再生に向けた素晴らしい取組みを世界に伝える貴重な機会になると信じています。』(2/24・国際河川財団)

(JRRN 事務局・和田 彰)



ダウンロードはこちらから(PDF2.6MB)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/407.html>

<応募要領目次>

1. はじめに~応募要領作成の目的~
2. 国際河川賞 (International Riverprize) とは?
3. 過去の受賞河川の紹介
4. 応募から受賞までの流れ (必要諸手続き含む)
5. 受賞した場合の義務や期待される役割
6. 参考資料 (関連英語資料の入手先 URL)



桜のある水辺風景 2014 ～あなたのお待ちしています～

桜の美しい季節を迎えようとしています。

JRRN では、今年も皆様より 2014 年に撮影された「桜のある水辺写真」を募集し、それらを写真集としてご紹介させていただきます。

沖縄から北海道まで、日本の水辺の魅力を再発見できるような素敵な桜の水辺写真をお待ちしております。

2013 年 3 月・筑後川・山田堰

○テーマ：「桜のある水辺風景 2014」 ※2014 年に撮影された写真に限定させていただきます

○応募資格： どなたでもご応募いただけます (JRRN 会員・非会員)

○作品規定：

- ・応募はお一人 10 点まで可能です。ただし応募作品は自ら撮影したものに限りです。
- ・写真サイズはハガキサイズ程度の印刷でも鮮明なレベルとし、デジタル画像サイズは 3MB/1 枚 以内とします。
- ・個人が特定できる人物画像が含まれる場合は被写体の方の了承を得てください。

○応募方法： 「応募シート」に、題名、撮影場所、撮影年月、氏名、住所、電話、Email アドレス、写真利用時の個人情報開示条件、作品への思い等をご記入の上、写真と共に以下応募先へ送付下さい。

※デジタル画像は応募シートと共に電子メールにて、オリジナル写真は応募シートを同封し郵送願います。

※電子メールで複数画像を送付する場合、合計サイズが約 3MB 以下となるよう複数回に分けて送付をお願いします。

※「応募シート」ダウンロードはこちら：<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/Photo2014form.doc>

○応募期間： **2014 年 3 月 3 日(月) ～ 2014 年 5 月 31 日(土)**

○応募作品の取扱いについて：

- ・応募期間終了後に、「桜のある水辺風景写真集」や JRRN ニュースレター等でご紹介させていただきます。
- ・応募写真から優秀作品を JRRN 会員により選定し、JRRN ホームページ上でご紹介させていただきます。
- ・応募内容が本企画趣旨に沿わないと判断した場合は、上記での紹介を控えさせていただくことがあります。
- ・(撮影者に事前にご連絡の上で) JRRN 刊行物やウェブサイト等で無償で使用させて頂くことがあります。
- ・応募作品は返却致しませんのでご了承ください。

○応募先：

〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 新川中央ビル 7 階 (公財)リバーフロント研究所内
日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 (Email: info@a-rr.net)

○問合せ： JRRN 事務局 担当：後藤・和田 (E-mail: info@a-rr.net Tel: 03-6228-3862)

川系男子の『川と人』めぐり ～祝 10周年『川と人』ゼミ 小貝川～



坂本貴啓 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 白川直樹研究室『川と人』ゼミ)

『川と人』
めぐり

研究室のゼミ名『川と人』ゼミという言葉をもじって、『川と人』めぐりのタイトルで連載していきます。テーマは川と人。川が好きではない『川系男子』が川めぐりをしながら、川への思いや写真・動画などをご紹介していきます。

白川直樹先生 (システム情報系准教授) が筑波大学に着任されて 10 年が経過した。今年度で研究室を設立して 10 年目にあたるのが過去の資料を見ていて発覚。ゼミの在学生有志でお祝いをしようという話が持ち上がり、2014 年 3 月 1 日に白川研究室『川と人』ゼミ 10 周年記念祝賀会を開催した。10 年間の OB・OG を呼んで総勢 30 名で 10 年の節目を祝った (3 部構成で、1 部が現地、2 部が研究発表、3 部が世代間交流会)。

私も最近では、研究室で最年長学年になり、長老扱いになってしまったが、直属の先輩が来て、当時のことを振り返るのはかけがえのない時間だった。

祝賀会の内容のメインは白川研らしくフィールドトリップで小貝川へ。小貝川は在学中ほとんどの人が一度は行った川であるため、OB・OG から「懐かしいなあ、ここ昔見に来たなあ。」「俺の時は自転車でここまで来たなあ。」など小貝川を見て当時を思い出す人が多く見られた。

10 年の月日を超えて、歴代の先輩後輩が一堂に会し、川を巡る光景は当時を思い出すものがあつたのか、白川先生は終始笑顔が絶えなかった。10 年間変わらずに川を視る目を我々にご指導してくれた白川直樹先生にお祝いと感謝を申し上げたい。



利根川矢口スーパー堤防にて記念撮影



在学生による研究発表



昭和 58 年小貝川破堤点にて



世代間交流会

水辺からのメッセージ No.58

岡村幸二 (JRRN 会員)

川でつながる新旧市街地： 大阪城に隣接する 26ha の超高層ビル群の商業一大拠点



撮影：2013 年 9 月 (大阪府大阪市・大阪ビジネスパーク)

◆ “水の都” を代表する表舞台

古くは「弁天島」と呼ばれ、旧大和川などが合流する中洲で、水運交通の要衝でした。今はクルーズを利用して道頓堀川、東横堀川、大川など、川の毛細血管から大動脈まで水のネットワークが広がります。

◆ 閘門の操作でクルーズを実現

東横堀川は平成 12 年、東横堀川水門と道頓堀川水門が完成。高潮時に旧淀川筋からの流入を防ぎ、河川水位の上昇を防いでいます。常時は閘門の操作により船の航行を可能にしています。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■水の巡回展「雨といきもの展」 in 宮崎
○日時：2014年2月20日(木)～3月9日(日)
○主催：国土交通省 延岡河川国道事務所
○場所：リバーパル五ヶ瀬川(宮崎)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1869.html>

■第11回 RAC フォーラム すべてのことがらは、川
がつなげる!!～環境と安全と防災と教育～
○日時：2014年3月1日(土)～2日(日)
○主催：NPO法人川に学ぶ体験活動協議会
○場所：東京海洋大学 越中島キャンパス(東京)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1842.html>

■JRRN 主催・初春の都心の舟めぐり-船上座談会-
○日時：2014年3月4日(火)、3月15日(土)
○主催：JRRN・江戸東京再発見コンソーシアム
○集合場所：日本橋船着場(東京)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1856.html>

■第18回荒川流域再生シンポジウム「天然遡上のアユ
で溢れる流域の再生を語る」
○日時：2014年3月16日(日) 13:00-16:40
○主催：NPO法人 荒川流域ネットワーク
○場所：国立女性教育会館(埼玉)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1864.html>

■2014年度河川技術に関するシンポジウム
○日時：2014年6月5日(木)～6日(金)
○主催：土木学会水工学委員会河川部会
○場所：東京大学農学部 弥生講堂(東京)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1831.html>

■皆様からのイベント情報提供をお待ちしています!

全国で河川再生に関わる様々な行事が開催されています。ローカル情報のPRや共有を目的に、皆様からの情報提供をお待ちしております。(JRRN事務局)

(海外の河川・流域再生に関する主なイベント)

- 2014.5.7-8(ロンドン/英国) 15th RRC Annual Network Conferences
- 2014.6.23-27(トロンハイム/ノルウェー) EcoHydraulics 2014
- 2014.6.25-27(ブリスベン/豪州) 5th Int. Symposium on Hydraulic Structures
- 2014.7.21-25(マナウス/ブラジル) 2nd Int. Conference on the Status and Future of the World's Large Rivers
- 2014.9.2-5(カタローニャ/スペイン) Cong. on Industrial and Agricultural Canals
- 2014.9.15-19(キャンベラ/豪州) 17th International Riversymposium
- 2014.9.21-26(リスボン/ポルトガル) IWA World Water Congress & Exhibition
- 2014.9.28-10.2(ハンブルク/ドイツ) 11th International Conference on Hydroscience & Engineering
- 2015.4.12-17(Daegu/韓国) 7th World Water Forum

※詳しくはARRNウェブサイト内の国際会議ページをご参照下さい。→<http://www.a-rr.net/news/conference/>

書籍等の紹介 Publications

■ 東京 2020 計画地図 (2014.2 発刊)

- ・編著：東京都市計画研究会
- ・出版社：かんき出版
- ・価格：1,470円
- ・ISBN-13：978-4761269746
- ・出版年月：2014年2月



JRRN 代表理事・土屋信行がメンバーに属する「東京都市計画研究会」編集の新刊本です。

「銀座に川がよみがえる」「川・運河を観光船が走りまわる」など、2020年の東京の川や水辺に関わる話題も豊富に登場しております。

■ 川を活かす・守る～河川再生事例集(2013.2 発刊)

- ・執筆協力：河川再生に携わる市民団体や行政機関
- ・編集：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- ・発行：公益財団法人リバーフロント研究所
- ・出版年月：2013年2月



河川再生に取り組む市民団体や行政機関の方々に、それぞれの活動を始めたきっかけ、目標、活動内容、今後の展望などを執筆頂きました。

※本冊子の入手方法

JRRN事務局までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。

info@a-rr.net / 電話：03-6228-3862

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2014年2月28日時点の個人会員構成
(個人会員数：644名、団体会員数：52団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局
〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階
公益財団法人リバーフロント研究所 内
Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

